

## 外国語科「総合英語」授業実践紹介

授業者：松嶋 恭子

学年： 3 年

単元名：Lesson 15 Some scientists say that colors can change

単元のねらい（7つのチカラ：行動する力、チームワーク力、考える力）

英文を読んで、様々な色の心理学的効果について理解することができる。

理解した知識を使い、チームで英語を使ってプレゼンテーションすることができる。

単元の流れとパフォーマンス課題

（パフォーマンス課題）

創立350周年を記念して、和気閑谷高等学校の敷地に寮を建設することとなりました。世界的に有名な会社に内装デザインをお願いします。あなたはその会社の一人です。寮を利用する生徒が幸せに暮らせて、学業がはかどるような内装を考え、学校関係者の前でプレゼンテーションしてください。生徒の部屋、自習室と食堂から最低限1部屋選びデザインしてください。さらに余裕があるグループはその他の場所について言及してもかまいません。

（単元の流れ：全9時間）

- ① Applause Lesson 15 で様々な色の心理学的効果について読解する。（1時間）
- ② 3 学年の1 クラスを4 人ずつグループ分けし、それぞれのグループを会社と見立てる。会社名と役職（社長、副社長、チーフデザイナー、デザイナー）担当を決定し、知りたい情報をリサーチさせる。（2時間）
- ③ 教員のプレゼンテーションを聴いた後、それぞれ担当の原稿を作成、発表用のポスターやパワーポイントを作成し、発表練習する。（4時間）
- ④ 順番に発表し、聴衆はそれぞれの発表を以下の基準で評価する。（2時間）

パフォーマンス課題の評価

	Delivery			Contents		
	声の大きさ	流暢さ	目線	構成	主張・論点	視覚情報
5点	聴衆全員に十分に聞こえる。	英文を滑らかに発話できている。	発表のほぼすべてを聴衆の反応を見ながら自信を持ってできた。	筋道の立った順序で明確に話している。	主張や論点がテーマに沿っており、明確で根拠等の補足情報がある。	視覚的な情報を効果的に扱っており、伝えたい内容を明確に提示している。
3点	聴衆の最後尾の人がほぼ聞き取ることができる。	英文をほぼつまらずに発話できている。	時々、原稿に目をやることがあるが、聴衆の反応を見ながら発表できた。	一部筋道の立った順序で話している。	主張や論点がテーマに沿っており、明確だが、根拠が不明瞭。	視覚的な情報を一部必要に応じて扱っている。
0点	聴衆の最後尾の人にはほとんど聞こえない。	単語ごとに区切って発話している。	ほとんどずっと、原稿から目を離すことがなく、聴衆とアイコンタクトしなかった。	筋道の立っていない順序で話している。	主張や論点がテーマに沿っていない。	視覚的な情報を効果的でない形で扱っている。

単元を通して身につけてほしいこと

読んだり調べたりした情報を活用しながら、モデルとなる文を用いて、自分の主張を、理由や根拠とともに論理の構成や展開・視覚情報の示し方を工夫し、分かり易く話して伝えることができる力を身に付けてほしい。

### 実践の背景

- 英語を読む力はある程度あるが、英語で表現する力が弱い生徒が多いという背景がある。そこで、英語で読んだ情報を他者に伝える力や情報を活用してやりとりする力を伸ばすことを目指し、生徒が主体的に取り組める技能統合型のタスクを考えました。

## 授業改善のアプローチ

- 教員が教壇に立って説明するスタイルからの脱却を目指しました。教員を授業のファシリテーターと位置づけ、教員の役割を授業の大枠を示し活動の流れをコントロールすることに絞り、生徒たちが主体的に動かなければ完結しないタスクを目指しました。教員がモデルを示し、それぞれの役割がプレゼンテーションで話す原稿のモデルや使える表現も示すことによって、出来上がったプレゼンを生徒がイメージしやすいようにしました。また、割り振られた役割によって話す内容の量を調整することによって、英語に苦手意識がある生徒でも活動しやすいように工夫しました。
- 将来あるかもしれないシチュエーション&生徒たち自身の身近に感じられ、興味を持てるテーマを考えました。

### 生徒の変容

#### (行動する力)

問いを示した時、生徒たちの多くが興味を持ってくれたことを表情や反応で感じられました。普段は受け身であることが多い生徒たちですが、パソコンで情報を調べたりグループで話し合ったりという活動も教員が促すことなく、自分たちで積極的に取り組むことができていました。

#### (チームワーク力)

普段は個で動くことが多い生徒たちですが、今回はチームで協力しなければ進まないため、自然と役割分担してポスターの図担当や英語担当など、それぞれの得意分野を生かして活動できていました。また、プレゼンテーションの練習もチーム内で協力してできていました。

#### (考える力)

普段は英語を読んだり書いたりすること自体が目的になっていますが、今回は英語で相手にアピールしなければならないという目的を持つことで、効果的な視覚情報をどのように示せば良いか、意図した内容を相手に伝えるためにどのように英語で表現するべきかなど、普段より一層深く考えることができていたように思いました。

#### (生徒の感想)

声の大きさは良かった。目線を聴衆に向けて話すことができなかったのが反省点だった。パワーポイントも有効に使って、説明することが出来た。訴えかけるように説明することが大切だと気付いた。



### 評価

学期ごとに以下の材料で評価しています。

- ①パフォーマンス課題+毎授業のノート評価+その他の課題に対する評価(40%)
- ②定期考査による評価(60%)

また、生徒たち自身は単元ごとに教員から示されたルーブリックで自己評価しています。